

第3回 長良川流域新五流総地域委員会 議事概要

長良川流域新五流総地域委員会事務局

日時：平成26年6月11日（水）14:00～15:30

場所：ふれあい福寿会館第2棟 4F 4-2 会議室

1. 議事

- 規約の改正について
- 「長良川流域における総合的な治水対策プラン」の改定について
 - (1)改定までの経緯について
 - (2)県民意見募集の結果について
 - (3)プランの改定内容について
- 今後の進め方について

2. 議事要旨

- 規約の改正について
 - ・委員及びオブザーバーの交代に伴い規約の別表1及び別表2を改正する。
 - ・河村委員長の辞意を受け、新たな委員長として岐阜大学フェロー・名誉教授の藤田委員が選出された。
- 「長良川流域における総合的な治水プラン」の改定について
 - 項目(1)、(2)、(3)の順に内容について事務局から説明があり、質疑、意見交換がなされた。各項目について交わされた質疑応答、意見の主な内容は以下の通りである。
 - (1)改定までの経緯について
 - ・委員からの質疑や意見は特になし
 - (2) 県民意見募集の結果について
 - ・「郡上あゆ」は日本で唯一の河川魚のブランドであり、品質の維持、向上に努めているが、そのためには河川環境が重要である。河川改良事業において、故福留脩文先生の指導の下、石組みで河床安定を図る工事を施工いただき、良好な河川環境になっている。今後同様の配慮をお願いしたい。
 - ・川は蛇行しないと淵がなくなる。川には、早瀬、淵、瀬の3つのバランスが大事である。川は蛇行するように施工してほしい。
 - ・河川に近づきやすくしてほしいという意見は尤もであるが、その場合安全に配慮することが非常に重要である。
 - (3) プランの改定内容について
 - ・河川構造物の老朽化を懸念しているが、新しいプランに河川構造物の長寿命化が含まれており、時宜を得ている。今後それを粛々と進めてほしい。
 - ・長良川について、本川は、床上浸水対策特別事業で河道掘削をしてもらい安全度が上が

った。支川、派川についても整備を進めてほしい。

- ・河川堤防の耐震性能照査の結果について、要対策の総延長 13.6km がどこの河川に当たるか教えてほしい。

→冊子「長良川流域における総合的な治水対策プラン」の 45 ページに記載のとおり。長良川流域においては、鳥羽川と伊自良川での 2.8km 区間である。

○今後の進め方について

今後の進め方について、事務局から説明がなされた。

- ・委員からの質疑や意見は特になし。